

アカゲラ通信



元日初日の出について

2016(平成28)年1月1日(金)、初日の出時刻は7時06分です。

元日は通常通り朝6時に駐車場開門します。

当日は駐車場内、入口、公園の門及び道路に警備員がいます。

ご来場の際には警備員の指示に従ってください。

例年6時45分頃には駐車場が満車となり、車両の入場制限が行われます。

近隣の住民へのご迷惑になるため、路上駐車は決してしないようお願いします。

また、初日の出の後、駐車場までは人が集中し、雪で滑りやすいため、歩く際にはお気をつけください。

駐車場を車で出る際には歩行者には十分お気をつけください。



2015年初日の出

●初日の出を拝むポイント（右写真参照）

初日の出を待つ人々

- 旭山記念公園の初日の出は、藻岩山「平和の塔」がある尾根の東側の裾野から上ってきます。



展望台の最も高い場所からは見ることができません。

(展望台南側の針葉樹も視界を遮ります)。

おすすめポイントは、展望台から階段を降りた場所、特に踊り場になっている辺りはゆったりと見られます。

- 地平線近くに雲があり、太陽がその上に昇ったところで初日の出を拝めることもあります。

日の出時刻に太陽が見えなくても、雲の様子により少し残って様子を見るのもひとつの手です。

「クリスマスリース作り」行いました

2015年11月21日(土)、「クリスマスリース作り」行いました。



コクワやクズのリースに松ぼっくり、ナナカマドの実、カラーテープなどを使い、みなさま思い思いのリース作りを楽しんでおられました。

リース作りも毎年行ってゆきます、早いですが(笑)、お楽しみに。

なお、クリスマスリースは欧米では本来、1月6日まで飾ります。

魔除けの意味もありますが、キリストの生誕を祝うためのものです。

旭山記念公園は冬も楽しい！ 冬のイベント予定

旭山記念公園では冬の間もさまざまなイベントを予定しています。



- スノーキャンドル 1月16～24日の土日祝日のいずれか(日程未定)

阪神淡路大震災への思いから始まったスノーキャンドル。

雪で作ったランタンにろうそくの火をともします。※日程決まり次第お知らせします

- 旭山冬のフェスティバル 2016：2月11日(木・祝)

旭山のイグルーは冬の風物詩。スノーシューウォーク、クラフトなど。

- 早朝野鳥観察会：1月9日(土)、2月6(土)、3月5(土)

暖かい服装でお越しください。

- スノーシューナチュラル観察会：1月23(土)、2月20(土)、3月12(土)

動物の足跡、木々の冬芽の観察。3月にはもうフキノトウが見られます。

- 「森の家」は土日祝日10時～16時開館

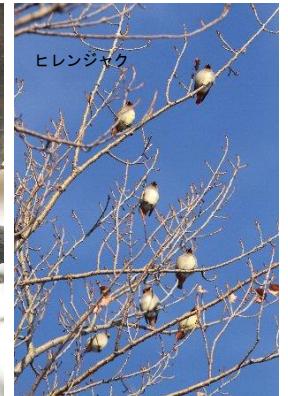
スノーシューレンタルを行っています。1人1回100円、「森の家」までお越しください。



ミヤマホオジロ滞在 ~2015年11月野鳥の動き~

11月の旭山の野鳥の動きをまとめてみました。

- ミヤマホオジロ：11月中旬に今期初めて旭山で確認。例年であれば2、3日でみられなくなりますが、今年はそれから滞在し、最高4羽が見られました。よく現れる場所は「風の丘」付近の草地及びつり橋右岸側針葉樹下の草地ですが、群れで園内外一円を巡回しているようで、時間により見られたり見られなかったりしました。※12月5日には確認できませんでした。もう南に渡っていなくなった可能性が高いです。
- オオアカゲラ：夏期は園内ではめったに見られず、秋に山から降りてきて見られるようになりますが、今年は雌雄とも11月中旬から園内で見られる機会が例年より多く、春先まで機会が多くなりそうです。
- カケス：今年は3羽で行動している姿がよく見られます。
- コガラ：11月に園内で確認。ハシブトガラと酷似していて見つけにくいですが、翼の次列風切羽が顕著に白く見える個体はコガラの可能性があります。
- エナガ：数羽の群れが日に何度も「森の家」近くで見られます。
- ヒレンジャク：11月上旬に15羽ほどの群れがやって来て数日滞在した後一時見られなくなりましたが、下旬の寒波で再び数羽が入ってきておち、しばらく滞在する可能性があります。 オオアカゲラ雌
- キレンジャク：11月下旬のヒレンジャクの群れに1羽混じっていましたが、今後増える可能性があります。
- シメ：数羽の群れが「シリッ」と鳴きながら飛ぶ姿をよく見ますが、低い場所にはなかなか降りてきません。
- ツグミ：11月上旬には多かったものの、下旬以降は数羽に減りました。
- キバシリ：比較的よく見られます。「シリッ」とか細い声で鳴きます。
- マヒワ：12月に入り10羽以上の群れが見られるようになりました。
- ベニヒワ：一度現れただけです。
- イスカ：この秋はまだ確認していません。
その他、シジュウカラ、ハシブトガラ、ヤマガラ、ゴジュウカラ、アカゲラ、コゲラ、ヒヨドリ等留鳥は例年通り見られています。
クマゲラも声はよく聞かれ、姿も園内で週に何度か見かけます。
冬の間も野鳥観察にぜひお越しください。



冬は「見つめるシラカンバ」

シラカンバ(白樺)の枝が折れた跡は、人間の目のような形になります。
森を歩いていると、まるでシラカンバに見つめられているように感じます。
時には、木々が目と目で見つめ合っているようにも。
木々の葉が落ちた冬は特に、「見つめるシラカンバ」が目に留まります。
森を歩きながら、シラカンバの物語を作つてみるなんて、いかがですか。



編集後記

「アカゲラ通信」の発行を編集の都合により月末から月初めに変更します。
来月は元日の様子がお伝えできると思います。
ところで、この冬はエルニーニョ現象の影響で暖冬が予想されています。
昨季も暖冬でしたが、雪少なめで、冬は冬らしく寒くあってほしいと、今年は思っています。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第25号 2015(平成27)年12月6日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話 011-200-0311 (土・日・祝日 10時～16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>